

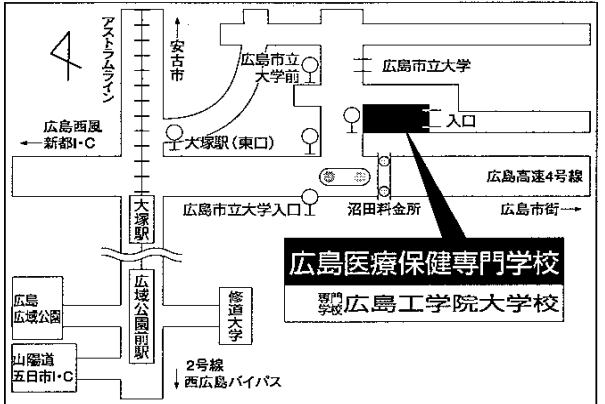
申し込みにはジョブ・カードが必要です。

【基金訓練】 訓練生募集票 選考日 7月2日

コース番号	23-34-03-05-0002	募集期間	平成23年6月2日～平成23年6月30日
コース名	実践演習コース	訓練実施期間	平成23年7月25日～平成23年10月24日

〈初心者向け〉 訓練実施概要 定員 20名

訓練科名	介護スペシャリスト養成科(3ヶ月)	選考結果通知日	平成23年7月4日	
選考日時	7月2日 10:00～	選考場所	広島医療保健専門学校	
選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 面接 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> その他()			
訓練目標	介護の専門職として本コースにおける教育訓練を通して、利用者一人ひとりに対応した介護サービス提供ができる様、幅広い観点から学習する。			
対応職務	介護職			
訓練の内容	科目	科目の内容	時間	
	学	就職活動支援講座 介護員養成研修(講義) 接遇マナー講座 福祉レクリエーション講座 福祉総合研究 その他	コミュニケーション、履歴書・職務経歴書の作成方法、面接指導など 介護員養成研修二級課程終了のための講義科目(ホームヘルプサービス概論、福祉理念とケアサービスの意義、介護概論など17科目) 介護サービス利用者の満足度を更に高めるための、接遇マナーなど 福祉レクリエーションについての学習 身近な福祉問題に関する学習など 入校式、修了式、オリエンテーション、職業見学、職業人講話	22.5 63 6 3 15 18
技	実	介護員養成研修(演習)	介護員養成研修二級過程における演習科目(共感的理解と基本的態度の形成、基本介護技術など)	43.5
	技	介護員養成研修(実習)	介護員養成研修二級課程における施設実習(介護実習、ホームヘルプサービス同行訪問など)	80
		ITスキルアップ演習	Microsoft Word および Excel 等の実技講習を通して、介護現場で求められるITスキルを身につける	9
		介護プラスワン	利用者の状況に合わせた介護が行えるよう、介護技術、料理等多様な技術を身につける	82.5
計			342.5H	

訓練実施施設名	広島医療保健専門学校	(案内図) 	
所在地	広島市安佐南区大塚東 3-2-1		
TEL	(082) 849-6883		
FAX	(082) 849-6884		
訓練実施施設までの交通手段			
○公共交通機関 広島電鉄バス(花の季台・こころ団地線) 広島バスセンター⇒JR「横川駅」⇒広島市立大学前			
○マイカー 市内中心部から「広島高速4号線」沼田料金所を出てすぐの信号を右折			
受講申込書提出先	広島医療保健専門学校		
備考	【訓練時間帯】	9:00～14:30(時に 16:10)	【関連資格】ホームヘルパー2級
	【教科書代等】	6,300円	
	【駐車場】	あり	
主要な設備等	介護実習に必要な物品(ベッド8台 など) 調理実習に必要な物品(調理台8台 など)		

「介護スペシャリスト養成科」訓練コースの特徴

特徴、セールスポイント

介護スペシャリスト養成科では、介護の基本を体系的にとれえ、さらに専門的な知識の習得とレベルアップの為の講義と演習を行っています。また、色々な角度から介護福祉の勉強を学ぶため、様々な経験を持つ講師による講義を行います。

また、介護実習では、通常に比べて長い実習期間を取っています。これは訓練生が施設や居宅サービス等がどのようなものなのかを体験することで、実践力を身につけることを目的としています。また、この期間にしっかりと自分の将来を見つめることができます。

さらに、就職においても施設との連携を取り、就職先の紹介や相談・支援等のバックアップ体制をとっています。

想定している受講生(こんな方に受講してほしい)

介護の現場では、コミュニケーションが大切です。すなわち、相手の話をしっかり聞き、相手の気持ちをしっかりとくみ取る事の出来る方が求められています。本科では、知識・技術に加えて、高いコミュニケーション力を養うことを目的としています。こうした能力を身に付け、介護の現場で活躍を望まれる方の受講を期待しています。

就職先で想定している知識・技能(スキル)

ホームヘルパー2級の資格を取得することで、訪問介護事業所への登録ができ、様々な福祉系の施設で常勤として働くことも可能です。

学校(訓練実施機関)の教育方針

広島医療保健専門学校では、資格取得を目標に自主性と向上心をもって人間性のある人を育成することをモットーに教育訓練を行っています。

本校では、臨床経験豊富な講師陣による講義・実技指導を行い、介護福祉士の養成をはじめ、保育士、幼稚園教諭、理学療法士、作業療法士、精神保健福祉士等、広く福祉・医療系で活躍することのできる人材育成を行っています。また、就職率は100%の実績を残しています。

訓練実施 施設名	広島医療保健専門学校
所在地	広島市安佐南区大塚東3-2-1 (〒)
	T E L 082(849)6883 F A X 082(849)6884
訓練実施 機関名	学校法人古沢学園
所在地	広島市中区中島町9-11 (〒-)
	T E L 082(247)3700 F A X 082(242)0983

研修機関が公表すべき情報の内訳

研修機関情報	
法人名	学校法人古沢学園
住所	〒730-0811 広島市中区中島町9-11
理念	福祉に関する高度な知識と技術の修得とあわせて、福祉の向上と増進に寄与することを目的とする。
研修施設	広島医療保健専門学校 〒731-3166 広島市安佐南区大塚東3-2-1
設備	座学・実技教室、相談施設完備
研修概要	
対象	一般
研修期間	平成23年7月25日～平成23年10月24日
日程・時間数	日程表参照
定員数	20名
指導者数	32名
申し込み方法	基金訓練受講申込書交付（ハローワーク）→基金訓練受講申込（本校）→選考試験（本校）→受講勧奨通知書受理（ハローワーク）→開講
費用	6,300円（テキスト代）
留意事項、特徴、受講者へのメッセージ	介護現場に携わる際に求められる知識・技能の修得を目指した講義・演習を行います。
公表事項	
広島県介護事業要請研修事業指定要綱による研修機関が公表すべき情報	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 学則 2. シラバス 3. 日程表 4. 講師情報 5. 実習施設情報 	
連絡先等	
問い合わせ先	広島医療保健専門学校 保育介護福祉学科 〒731-3166 広島市安佐南区大塚東3-2-1 TEL(082)849-6883
苦情対応者	広島医療保健専門学校 保育介護福祉学科 学科長 荒木 博子 〒731-3166 広島市安佐南区大塚東3-2-1 TEL(082)849-6883 FAX(082)849-6884 E-mail jimuriryoushou@furusawa.com

学 則

法人格・名称・住所	学校法人古沢学園 広島市中区中島町9-11			
代表者	古澤 敏昭			
名称	学校法人古沢学園 広島医療保健専門学校			
所在地	広島市安佐南区大塚東3丁目2-1			
連絡先・相談窓口	所属	広島医療保健専門学校 保育介護福祉学科	職氏名	学科長 荒木 博子
	電話番号	082-849-6883	FAX番号	082-849-6884
	E-mail	jimu-iryu@furusawa.com	HPアドレス	http://www.furusawa.com/iryu/
名称	広島医療保健専門学校 介護スペシャリスト養成科 (新規成長・雇用吸収分野等訓練コース(実践演習コース))			
課程	2級	講義方法	通学	
実施期間	平成23年7月25日 ～ 平成23年10月24日			
	日程	「日程表」のとおり		
カリキュラム及び講師	「研修カリキュラム(兼)講師一覧表」のとおり			
使用テキスト	名称・発行会社	『ホームヘルパー講座(2級課程テキスト)介護の理念と社会的役割』『ホームヘルパー講座(2級課程テキスト)介護技術の基礎と実践』『ホームヘルパー講座(2級課程テキスト)介護保険と社会福祉の制度』(日本医療企画)		
実施場所	講義施設	専門学校広島工学院大学校 503教室	所在地	広島市安佐南区大塚東3丁目2-1
	演習施設	専門学校広島工学院大学校 503教室 広島医療保健専門学校 介護実習室・入浴実習室	所在地	広島市安佐南区大塚東3丁目2-1
	実習施設	「実習施設一覧表」のとおり		
受講料	金 6,300 円(テキスト代,消費税含む。)			
	支払方法	現金		
	解約条件・返金の有無	研修開始前のキャンセルについては受講料を返還するが、研修開始後のキャンセルについては応じない。		
定員	20名			
その他	本研修は、中央職業能力開発協会が実施する平成23年度緊急人材育成支援事業に基づく基金訓練(介護スペシャリスト養成科)を本校が受託して行う。			
資格要件	公共職業安定所に求職申込を行い、公共職業安定所長の受講指示又は受講推薦を受けた者			
申込方法	受講の手続きは、全て公共職業安定所及び独立行政法人雇用・能力開発機構が行う。			
申込先	公共職業安定所及び独立行政法人雇用・能力開発機構			
受講決定	受講生の決定については本校が行う。			

科目免除	免除の有無	無
遅刻・早退・ 欠席の取扱い	遅 刻	各科目において履修を認めず、別途補講を行う。
	早 退	各科目において履修を認めず、別途補講を行う。
	欠 席	各科目において履修を認めず、別途補講を行う。
補講の実施	実施の有無	有
	可能な科目	講義科目および演習科目の全てとする。
	上 限	原則として3科目（10時間）までとする。
	方 法	原則として本校で実施するが、やむを得ない場合は他の事業者で実施する場合もある。
	費 用	90分あたり1,000円を受講者の負担とする。他事業者で実施する場合の受講料は他の事業所の定める金額による。
	注 意 事 項	無
修了の取扱い	修了評価	「修了評価の方法」のとおり。
	修了期限	平成23年12月25日までに修了すること。
	修了認定	修了を認定した者には、修了証書を交付する。
受講の取消し	次に該当するものは、受講を取り消すことがあるものとする。 (1) 学習意欲が著しく欠け、修了の見込みがないと認められた者。 (2) 研修の秩序を乱し、他の受講生に影響を及ぼす者。	
受講中の事故 等の対応	受講中は、東京海上日動火災保険に事業所負担にて加入する。 研修事業実施中に事故が発生した場合は、県、雇用・能力開発機構広島センター、当該受講者の家族等に連絡を行うとともに、必要な措置を講じることとする。また、事故の状況及び事故に際してとった措置について記録することとする。	
個人情報の取 扱い	受講者の個人情報については、他に漏れないよう厳重に管理し、犯罪捜査等の法律上定められた目的に使用される以外は、受講者の承諾なしに第三者に提供しない。 なお、広島県の管理する修了者名簿への登載を目的として、広島県に対し、修了者の個人情報を提供する。 また、受講者は、研修を受講する上で知り得た個人情報を他人に漏らしてはならない。	

修了評価の方法

	修了評価方法	合格基準	不合格時の取扱い
講義	<ul style="list-style-type: none"> ◆出席表により確認を行う。 ◆各科目ごとに小テスト又はレポートによる評価を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆全科目に出席すること。 ◆小テスト又はレポート70点以上とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆やむを得ず欠席した場合は補講を受講させる。 ◆著しく理解度が不足している者は、科目の修了を認めず別途補習を実施する。
演習	<ul style="list-style-type: none"> ◆出席表により確認を行う。 ◆各科目ごとに小テスト又はレポートによる評価を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆全科目に出席すること。 ◆小テスト又はレポート70点以上とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆やむを得ず欠席した場合は補講を受講させる。 ◆著しく理解度が不足している者は、科目の修了を認めず別途補習を実施する。
実習	<ul style="list-style-type: none"> ◆出席表により確認を行う。 ◆実習日誌に於いて実習指導者の評価を参考に評価を行う。 ◆実習先の訪問時に実習担当者に実習状況の確認を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆全科目に出席すること。 ◆実習責任者及び実習指導者が実習修了を認めることで合格とする。 ◆実習責任者及び実習指導者が実習修了を認めることで合格とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆やむを得ず欠席した場合は補講を受講させる。 ◆実習修了を認められない場合は、別途補習を実施する。 ◆実習修了を認められない場合は、別途補習を実施する。
評価者	各講義担当講師		

日程表

年月日	研修時間	時間数	科目名	講師
H23.7.25(月)	9:00～10:30	1.5	開講式オリエンテーション	荒木 博子
	10:40～12:10	1.5	オリエンテーション	荒木 博子
H23.7.26(火)	9:00～10:30	1.5	ホームヘルプサービス概論	吉原 直樹
	10:40～12:10	1.5	障害・疾病の理解	荒木 博子
	13:00～14:30	1.5	住宅・福祉用具に関する知識	花房 宏行
H23.7.27(水)	9:00～10:30	1.5	ホームヘルパーの職業倫理	吉原 直樹
	10:40～12:10	1.5	生活援助の方法	堀江 武史
	13:00～14:30	1.5	生活援助の方法	堀江 武史
	14:40～16:10	1.5	障害・疾病の理解	荒木 博子
H23.7.28(木)	9:00～10:30	1.5	高齢者福祉の制度とサービス	安本 真人
	10:40～12:10	1.5	ホームヘルプサービス概論	吉原 直樹
	13:00～14:30	1.5	障害・疾病の理解	荒木 博子
	14:40～16:10	1.5	医学の基礎知識 I	荒木 博子
H23.7.29(金)	9:00～10:30	1.5	ホームヘルパーの職業倫理	吉原 直樹
	10:40～12:10	1.5	医学の基礎知識 I	荒木 博子
	13:00～14:30	1.5	高齢者福祉の制度とサービス	安本 真人
	14:40～16:10	1.5	障害・疾病の理解	荒木 博子
H23.8.1(月)	9:00～10:30	1.5	相談援助とケア計画の方法	安本 真人
	10:40～12:10	1.5	障害・疾病の理解	荒木 博子
	13:00～14:30	1.5	介護事例検討	吉原 直樹
	14:40～16:10	1.5	相談援助とケア計画の方法	安本 真人
H23.8.2(火)	9:00～10:30	1.5	リハビリテーション医療の基礎知識	木島 拓郎
	10:40～12:10	1.5	リハビリテーション医療の基礎知識	木島 拓郎
	13:00～14:30	1.5	介護概論	堀江 武史
	14:40～16:10	1.5	介護概論	堀江 武史
H23.8.3(水)	9:00～10:30	1.5	障害者（児）福祉の制度とサービス	安本 真人
	10:40～12:10	1.5	障害者（児）福祉の制度とサービス	安本 真人
	13:00～14:30	1.5	住宅・福祉用具に関する知識	花房 宏行

	14:40～16:10	1.5	生活援助の方法	堀江 武史
H23.8.4(木)	9:00～10:30	1.5	基本介護技術	吉原 直樹
	10:40～12:10	1.5	基本介護技術	吉原 直樹
	14:40～16:10	1.5	障害・疾病の理解	荒木 博子
H23.8.5(金)	9:00～10:30	1.5	介護事例検討	吉原 直樹
	10:40～12:10	1.5	在宅看護の基礎知識 I	荒木 博子
	13:00～14:30	1.5	基本介護技術	吉原 直樹
	14:40～16:10	1.5	基本介護技術	吉原 直樹
H23.8.8(月)	9:00～10:30	1.5	高齢者・障害者（児）の家族の理解	古御堂 正
	10:40～12:10	1.5	高齢者・障害者（児）の家族の理解	古御堂 正
	13:00～14:30	1.5	基本介護技術	吉原 直樹
	14:40～16:10	1.5	基本介護技術	吉原 直樹
H23.8.9(火)	9:00～10:30	1.5	サービス提供の基本視点	古御堂 正
	10:40～12:10	1.5	サービス提供の基本視点	古御堂 正
	13:00～14:30	1.5	基本介護技術	吉原 直樹
	14:40～16:10	1.5	基本介護技術	吉原 直樹
H23.8.10(水)	9:00～10:30	1.5	在宅看護の基礎知識 I	荒木 博子
	10:40～12:10	1.5	住宅・福祉用具に関する知識	花房 宏行
	13:00～14:30	1.5	相談援助とケア計画の方法	安本 真人
	14:40～16:10	1.5	基本介護技術	吉原 直樹
H23.8.18(木)	9:00～10:30	1.5	高齢者・障害者（児）の心理	古御堂 正
	10:40～12:10	1.5	高齢者・障害者（児）の心理	古御堂 正
	13:00～14:30	1.5	福祉理念とケアサービスの意義	河野 喬
	14:40～16:10	1.5	福祉理念とケアサービスの意義	河野 喬
H23.8.19 金)	9:00～10:30	1.5	介護事例検討	吉原 直樹
H23.8.22(月)	9:00～10:30	1.5	共感的理解と基本的態度の形成	古御堂 正
	10:40～12:10	1.5	共感的理解と基本的態度の形成	古御堂 正
	14:40～16:10	1.5	基本介護技術	吉原 直樹
H23.8.23(火)	13:00～14:30	1.5	ケア計画の作成と記録，報告の技術	堀江 武史
	14:40～16:10	1.5	ケア計画の作成と記録，報告の技術	堀江 武史
H23.8.24(水)	10:40～12:10	1.5	基本介護技術	吉原 直樹

	13:00～14:30	1.5	基本介護技術	吉原 直樹
	14:40～16:10	1.5	基本介護技術	吉原 直樹
H23.8.25(木)	9:00～10:30	1.5	基本介護技術	吉原 直樹
	10:40～12:10	1.5	基本介護技術	吉原 直樹
	13:00～14:30	1.5	ケア計画の作成と記録, 報告の技術	堀江 武史
	14:40～16:10	1.5	ケア計画の作成と記録, 報告の技術	堀江 武史
H23.8.26(金)	13:00～14:30	1.5	基本介護技術	吉原 直樹
	14:40～16:10	1.5	基本介護技術	吉原 直樹
H23.8.29(月)	9:00～10:30	1.5	共感的理解と基本的態度の形成	古御堂 正
	10:40～12:10	1.5	基本介護技術	吉原 直樹
	13:00～14:30	1.5	レクリエーション体験学習	山口 浩二
	14:40～16:10	1.5	レクリエーション体験学習	山口 浩二
H23.8.30(火)	9:00～10:30	1.5	基本介護技術	吉原 直樹
	10:40～12:10	1.5	基本介護技術	吉原 直樹
H23.9.1(木)	9:00～10:30	1.5	実習オリエンテーション	荒木 博子
H23.9.5(月) ～ H23.9.16(金)	8:30～17:30	40.0	介護実習	「実習施設一覧表(別紙5の3)」 のとおり
	8:30～17:30	16.0	ホームヘルプサービス同行訪問(8h×2日)	
	8:30～17:30	24.0	在宅サービス提供現場見学(8h×3日)	
H23.10.24(月)	9:00～10:30	1.5	修了式	荒木 博子

シラバス

< 講義 >

社会福祉の基本的な理念及び福祉サービスを提供する際の基本的な考え方に関する講義 6時間

科目名	時間数	目的	内容	担当講師名
福祉理念とケアサービスの意義	3時間	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉の基本的な理念について理解する。 ・ケアサービスの意義2つについて把握し、チームケアの必要性を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・QOLの向上、ノーマライゼーション等の各福祉分野に共通する主流理念 ・ケアサービスの意義 ・チームケアの必要性 	河野 喬
サービス提供の基本視点	3時間	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービスを提供するにあたっての基本視点を形成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな人間観 ・他者理解と共感 ・自立支援 ・利用者の自己決定 	古御堂 正

高齢者保健福祉・障害者福祉に関する制度及びサービス並びに社会保障制度に関する講義 6時間

高齢者福祉の制度とサービス	3時間	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度を中心とした高齢者保健福祉の制度とサービスについて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者保健福祉の背景と動向 ・介護保険制度の概要とサービスの理解 ・その他の高齢者保健福祉の制度とサービスの理解 ・医療、年金、生活保護制度、住宅施策等、その他高齢者福祉に関連する制度、施策 	安本 真人
障害者（児）福祉の制度とサービス	3時間	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者（児）福祉の制度とサービスの種類、内容、役割について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者（児）福祉の背景と動向 ・身体障害者福祉の制度 ・知的障害者福祉の制度 ・児童福祉の制度 ・各福祉サービスの種類、内容とその役割 ・障害者（児）福祉に関する制度、施策 	安本 真人

ホームヘルプサービスに関する講義 6時間

科目名	時間数	目的	内容	担当講師名
ホームヘルプサービス概論	3時間	・ホームヘルプサービスの役割と業務を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームヘルプサービスの社会的役割 ・ホームヘルプサービスの制度と業務内容 ・チームケアの理解 ・24時間対応巡回型訪問介護サービスの理解 ・地域包括支援センター等関係機関との連携 ・関係職種の基本知識 	吉原 直樹
ホームヘルパーの職業倫理	3時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームヘルプサービスに従事する際の職業倫理について理解する。 ・サービス提供における利用者の人権の尊重について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームヘルプサービス業務においてとるべき基本的態度 ・福祉業務従事者としての倫理 ・サービス提供における利用者の人権の尊重、プライバシーの保護等 ・成年後見制度と権利擁護制度 	吉原 直樹

高齢者・障害者の疾病、障害に関する講義 15時間

科目名	時間数	目的	内容	担当講師名
障害・疾病の理解	9時間	<ul style="list-style-type: none"> ・業務において直面する頻度の高い障害・疾病を医学的に理解する。 ・実践的視点で利用者の状態像を把握する。 ・援助の基本的な方向性を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・加齢による老化 ・認知症 ・脳卒中後遺症（肢体不自由、失語症等） ・精神障害（統合失調症を中心として） ・脳性麻痺、脊髄損傷等による肢体不自由 ・知的障害、自閉症、てんかん、ダウン症 ・視覚障害、聴覚障害 ・心機能障害等の内部障害 ・高血圧、糖尿病 ・介護保険法における特定疾病の概要 等 	荒木 博子
高齢者・障害者（児）の心理	3時間	・高齢者、障害者（児）に対する理解を深め、心理的援助のあり方について把握する。	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、障害者（児）の生活、行動と心理 ・高齢者、障害者（児）の人間関係 ・高齢者、障害者（児）とのコミュニケーション ・生き活きとした生活に向けての心理的援助の実際 	古御堂 正
高齢者・障害者（児）の家族の理解	3時間	・高齢者、障害者（児）等の家族に対する理解を深め、援助の目的と機能を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・家族、世帯等の定義と内部構造 ・高齢者、障害者（児）の家族のストレス ・家族に対するアセスメントの方法 ・家族とのコミュニケーションと援助 ・母子、父子家族の理解 	古御堂 正

介護技術に関する講義 1 2 時間

科目名	時間数	目的	内容	担当講師名
介護概論	3 時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護の目的と機能を理解し、介護の基本原則を把握する。 ・ 在宅介護の特徴とすすめ方を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護の目的、機能と基本原則 ・ 介護ニーズと基本的対応 ・ 在宅介護の特徴とすすめ方 ・ 介護におけるリハビリテーションの視点 ・ リハビリテーション介護とは ・ ターミナルケアの考え方 ・ 介護者の健康管理 	堀江 武史
介護事例検討	4.5 時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活者としての援助対象者の介護事例を通して、適切な介護方法を学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者介護の特徴と留意点 ・ 障害者介護の特徴と留意点 ・ 障害児介護の特徴と留意点 	吉原 直樹
住宅・福祉用具に関する知識	4.5 時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者、障害者（児）にとっての快適な住宅について理解を深め、住宅の改造に関する知識を学習する。 ・ 福祉用具についての理解を深め、主な福祉用具の種類と機能を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活行動と生活空間 ・ 在宅介護における住宅の役割と機能 ・ 快適な室内環境 ・ 防災等の安全管理 ・ 住宅改造のポイントと事例 ・ 福祉用具の役割と利用に関する知識 ・ 主な福祉用具の種類と機能・使用法に関する知識 ・ 介護保険制度上の福祉用具貸与・購入費、住宅改修費の概要 	花房 宏行

生活援助の方法に関する講義 4. 5 時間

科目名	時間数	目的	内容	担当講師名
生活援助の方法	4.5 時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者、障害者（児）への生活援助の目的と機能を理解し、その方法を学習する。 ・ 高齢者、障害者（児）への生活援助に必要な栄養、調理、被服の知識を学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活援助の目的、機能と基本原則 ・ 生活援助の方法 ・ 生活援助における自立支援 ・ 高齢者、障害者（児）と栄養、食生活のあり方 ・ 食品の保存、管理 ・ ごみの始末、調理器具、食器等の衛生管理 ・ 高齢者、障害者（児）への調理技術 ・ 糖尿病、高血圧症等に対応する特別食 ・ 高齢者、障害者（児）と被服 	堀江 武史

相談援助に関する講義 4・5時間

科目名	時間数	目的	内容	担当講師名
相談援助とケア計画の方法	4.5時間	・ケアマネジメントの視点と方法を理解した上で、訪問介護員として行う相談援助の方法及びケア計画の作成方法を学習する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジメントの視点と方法 ・介護保険制度における居宅介護支援の理解 ・相談援助の目的、機能と基本原則 ・情報収集とニーズの発見 ・業務におけるケア計画の方法 ・援助内容の見直しの視点と手続き 	安本 真人

医学等の関連する領域の基礎知識に関する講義 9時間

科目名	時間数	目的	内容	担当講師名
医学の基礎知識 I	3時間	・高齢者、障害者（児）の在宅生活援助に役立つ知識を中心に家庭の医学等の基礎知識を学習する。	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な疾患の基礎知識と予防、対処方法 ・感染症の理解と予防 ・医療関係制度の基礎知識 	荒木 博子
在宅看護の基礎知識 I	3時間	・高齢者、障害者（児）の在宅看護の基礎知識を学習する。	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅看護方法の理解 ・身体の観察 ・薬の飲ませ方と保管 ・特別な処置 	荒木 博子
リハビリテーション医療の基礎知識	3時間	・理学療法と作業療法を中心にリハビリテーションの基礎知識を学習する。	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーション医療の意義と役割 ・リハビリテーション医療の概要 ・訪問リハビリテーションスタッフとの連携の進め方 ・リハビリテーション介護とは 	木島 拓郎 上川 紀道

<演習>

福祉サービスを提供する際の基本的な態度に関する演習 4. 5時間

科目名	時間数	目的	内容	担当講師名
共感的理解と基本的態度の形成	4.5時間	・サービス利用者の立場に立った理解とサービス提供者としての基本的態度を形成する。	・ロールプレイ等の方法によりサービス提供場面の演習を通して、サービス利用者に対する共感的理解と基本的態度を形成する。	古御堂 正

介護技術に関する演習 30時間

科目名	時間数	目的	内容	担当講師名
基本介護技術	30時間	・食事、排せつ、入浴、移動、移乗、その他基本的な介護技術を修得する。	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の介護 ・排せつ、尿失禁の介護 ・衣服着脱の介護 ・入浴の介護 ・体位、姿勢変換の介護 ・肢体不自由者の歩行の介護 ・車いすへの移乗等の介護 ・車いすへの移動の介護 ・視覚障害者の歩行の介護 ・ベッドメイキングの方法 ・身体の清潔保持の方法 ・緊急時対応法 ・腰痛予防等援助者の健康管理 	吉原 直樹

訪問介護計画の作成等に冠する演習 5時間

科目名	時間数	目的	内容	担当講師名
ケア計画の作成と記録、報告の技術	6時間	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護員としてのケア計画の作成技術を学習する。 ・業務及び事例の記録の方法と報告の仕方等を学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務のための情報収集とアセスメント ・サービス提供プランの想定 ・訪問介護員としての援助目標の設定とケア計画の作成 ・記録の書き方 ・上司への報告、相談の進め方 ・事例報告のまとめ方 	堀江 武史

レクリエーションに関する演習 3時間

科目名	時間数	目的	内容	担当講師名
レクリエーション体験学習	3時間	・高齢者、障害者（児）を対象とするレクリエーションについて理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーションの視点とプログラム ・高齢者、障害者（児）を対象とするレクリエーションの体験学習 	山口 浩二

<実習>

介護実習 56時間

科目名	時間数	目的	内容
介護実習	40時間	・講義、演習で学んだ内容を施設において実践することにより介護技術を中心とする援助能力を高める。	・特別養護老人ホーム、介護老人保健施設等における介護実習
ホームヘルプサービス同行訪問	16時間	・ホームヘルプサービス同行訪問により、業務を体験的に理解するとともに援助能力を高める。	・ホームヘルプサービス同行訪問による業務実習

見学実習 24時間

科目名	時間数	目的	内容
在宅サービス提供現場見学	24時間	・在宅サービス提供現場の見学を通して、そのサービス及び機関の役割、機能を理解する。 ・訪問介護サービスとの連携のあり方等、在宅生活者への総合的支援のあり方について学習する。	・デイサービスセンター等の在宅サービス提供現場の見学

講師一覧表

講師氏名	担当教科	所属	専任・兼任	資格
荒木 博子	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害、疾病の理解 ・ 医学の基礎知識 I ・ 在宅看護の基礎知識 I 	広島医療保健専門学校	専任	看護師 介護支援専門員
安本 真人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者福祉の制度とサービス ・ 障害者（児）福祉の制度とサービス ・ 相談援助とケア計画の方法 	広島医療保健専門学校	専任	社会福祉士 精神保健福祉士
吉原 直樹	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームヘルプサービス概論 ・ ホームヘルパーの職業倫理 ・ 介護事例検討 ・ 基本介護技術 	広島医療保健専門学校	専任	介護福祉士
古御堂 正	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービス提供の基本視点 ・ 高齢者・障害者（児）の心理 ・ 高齢者・障害者（児）の家族の理解 ・ 共感的理解と基本的態度の形成 	広島医療保健専門学校	専任	精神保健福祉士 社会福祉士
木島 拓郎	<ul style="list-style-type: none"> ・ リハビリテーション医療の基礎知識 	広島医療保健専門学校	専任	作業療法士
花房 宏行	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅・福祉用具に関する知識 	広島医療保健専門学校	専任	1級建築士 インテリアコーディネーター
山口 浩二	<ul style="list-style-type: none"> ・ レクリエーション体験学習 	専門学校福祉リソース カレッジ広島	兼任	レクリエーション コーディネーター
河野 喬	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉理念とケアサービスの意義 	専門学校福祉リソース カレッジ広島	兼任	社会福祉士 精神保健福祉士
堀江 武史	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護概論 ・ 生活援助の方法 ・ ケア計画の作成と記録、報告の技術 	グループホーム海老園 はなみずき	兼任	介護福祉士

実習施設一覧表【2級】

科目名	実習施設名	所在地	実習指導責任者	※
介護実習	特別養護老人ホーム 慈光園	広島市安佐南区高取北1丁目17番41号	楳 正臣	○
	特別養護老人ホーム 石内慈光園	広島市佐伯区五日市町石内 6405-1	高杉 正枝	○
	特別養護老人ホーム 瀬野川ホーム	広島市安芸区中野東2丁目34番1号	喜多村 彰	○
	特別養護老人ホーム 悠悠タウン江波	広島市中区江波西2丁目14-8	丸山 聖平	○
	特別養護老人ホーム 山まゆ	広島市安佐北区大林町字根谷 162 番地の 2	神田 博文	○
	特別養護老人ホーム 千歳園	広島市西区山田新町2丁目7番2号	引地 るみ	○
	介護老人保健施設 しんあい	広島市安佐南区沼田町伴 7941-1	清水 智恵美	○
ホームヘルプサービス同行訪問	上安慈光園 訪問介護事業所	広島市安佐南区上安2丁目23-5	景山 みかえ	○
	あきなかの 訪問介護事業所	広島市安芸区中野3丁目9番5号	新谷 浩子	○
	悠悠タウン江波 ホームヘルプサービス	広島市中区江波西2丁目14-8	西村 和久	○
	訪問介護事業所 山まゆ	広島市安佐北区大林町字根谷 162 番地の 2	久木田 麻利子	○
	訪問介護事業所 千歳園	広島市西区山田新町2丁目7番2号	山本 悦子	○
	医療介護センター	広島市安佐南区沼田町大字伴 8192 番 1	原田 末子	○
在宅サービス提供現場見学	デイサービスセンター 慈光園	広島市安佐南区高取北1丁目17番41号	山城 光枝	○
	デイサービスセンター 石内慈光園	広島市佐伯区五日市町石内 6405-1	大塚 ひとみ	○
	デイサービスセンター 慈楽の里	広島市安芸区中野東2丁目34番1号	国松 純子	○
	悠悠タウン江波 デイサービスセンター	広島市中区江波西2丁目14-8	伊瀬 岳志	○
	サービスセンター 山まゆ	広島市安佐北区大林町字根谷 162 番地の 2	山本 夕子	○
	デイサービスセンター 千歳園	広島市西区山田新町2丁目7番2号	岸田 幹広	○
	介護老人保健施設しんあい	広島市安佐南区沼田町伴字迫の谷 7941-1	三木 美江	○